



# 株式会社UKCホールディングス 2012年(平成24年)3月期 第2四半期決算説明資料

---

2011年11月8日



株式会社 UKCホールディングス

---





# 目次

## 2012年3月期 第2四半期決算（連結）概況

事業セグメント	4
2012年3月期 第2四半期 ハイライト	5
2012年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業	6
2012年3月期 第2四半期 電子機器事業	7
2012年3月期 第2四半期 システム機器事業	8
2012年3月期 第2四半期 財政状態（バランスシート）	9
2012年3月期 第2四半期 財政状態（キャッシュ・フロー）	10
2012年3月期 通期連結業績予想	11





---

# 2012年3月期 第2四半期決算(連結)概況



# 事業セグメント



事業部門（セグメント）		主要製品
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体
	電子部品	液晶パネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、タッチパネル、複合部品、その他一般電子部品
	EMS	電子機器受託製造サービス(Electronic Manufacturing Service)
	その他	LED照明
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、ビデオプリンター、音響映像関連機器
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード (FeliCa) R/Wモジュール、リモコン電子キーシステム、医療用監視システム、セキュリティシステム
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film) :

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料



# 2012年3月期 第2四半期 ハイライト

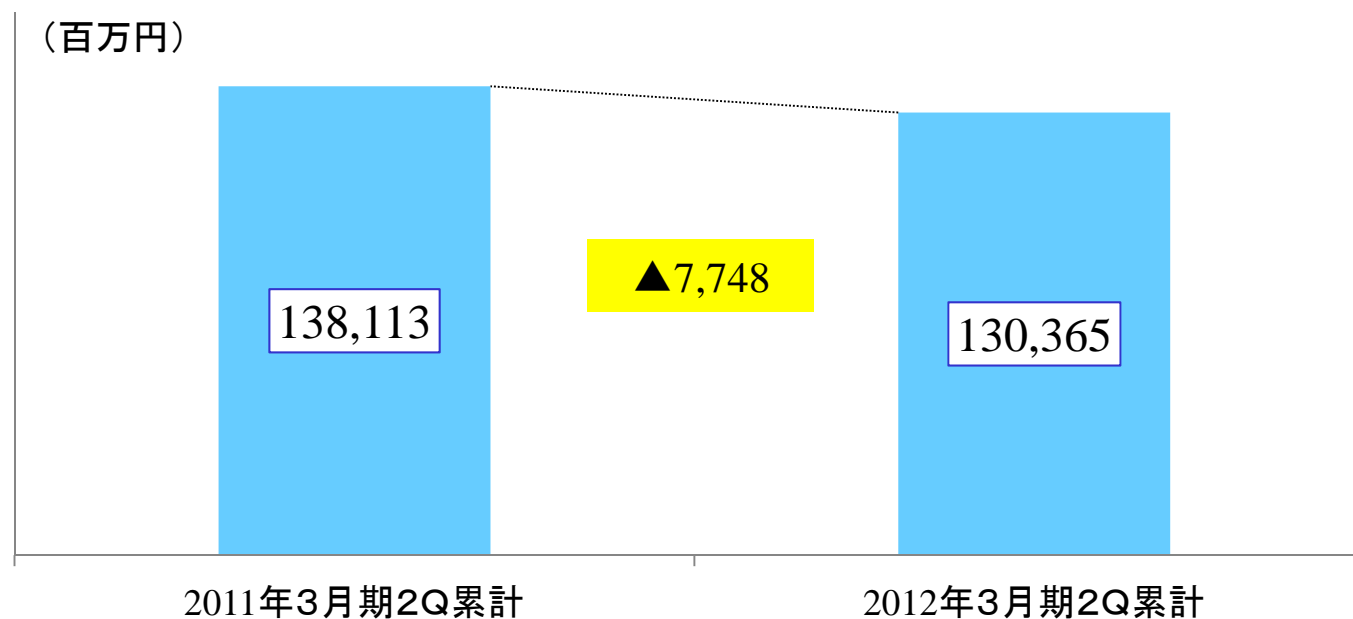


(単位：百万円)	2011年3月期2Q累計 (実績) ①		2012年3月期2Q累計 (8月10日修正予想) ②		2012年3月期2Q累計 (実績) ③		前年同期比 ③/①		予想比 ③/②	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	148,252	100.0%	135,000	100.0%	138,745	100.0%	▲9,507	▲6.4%	+3,745	+2.8%
売上総利益	8,365	5.6%	7,450	5.5%	7,951	5.7%	▲413	▲4.9%	+501	+6.7%
SGA	5,980	4.0%	5,750	4.3%	5,769	4.2%	▲211	▲3.5%	+19	+0.3%
営業利益	2,384	1.6%	1,700	1.3%	2,182	1.6%	▲201	▲8.5%	+482	+28.4%
経常利益	2,056	1.4%	1,400	1.0%	1,719	1.2%	▲337	▲16.4%	+319	+22.8%
当期純利益	1,135	0.8%	600	0.4%	736	0.5%	▲398	▲35.1%	+136	+22.8%

- 売上高については、サムスン製半導体・電子部品ビジネスの事業譲渡の影響(▲170億円)や震災影響による電子機器事業の減少(▲17億円)はあったものの、デジタルスチルカメラ及びスマートフォン向け電子部品の販売や、震災特需で伸長したLED照明ビジネス等が好調であったことにより、前年比▲95億円(▲6.4%)に留まる
- LED照明、タッチパネル等の高付加価値商材の販売増により、売上総利益率は前年比でアップ。SGAも事業譲渡に伴い減少したが、売上高の減少と急激な円高による為替差損の拡大で、売上総利益、営業利益、経常利益は前年比減
- 厚生年金基金脱退特別掛金(481百万円)等の事業会社統合に伴う費用計上により、当期純利益は前年比▲398百万円(▲35.1%)となった



# 2012年3月期 第2四半期 半導体及び電子部品事業



セグメント利益(百万円)

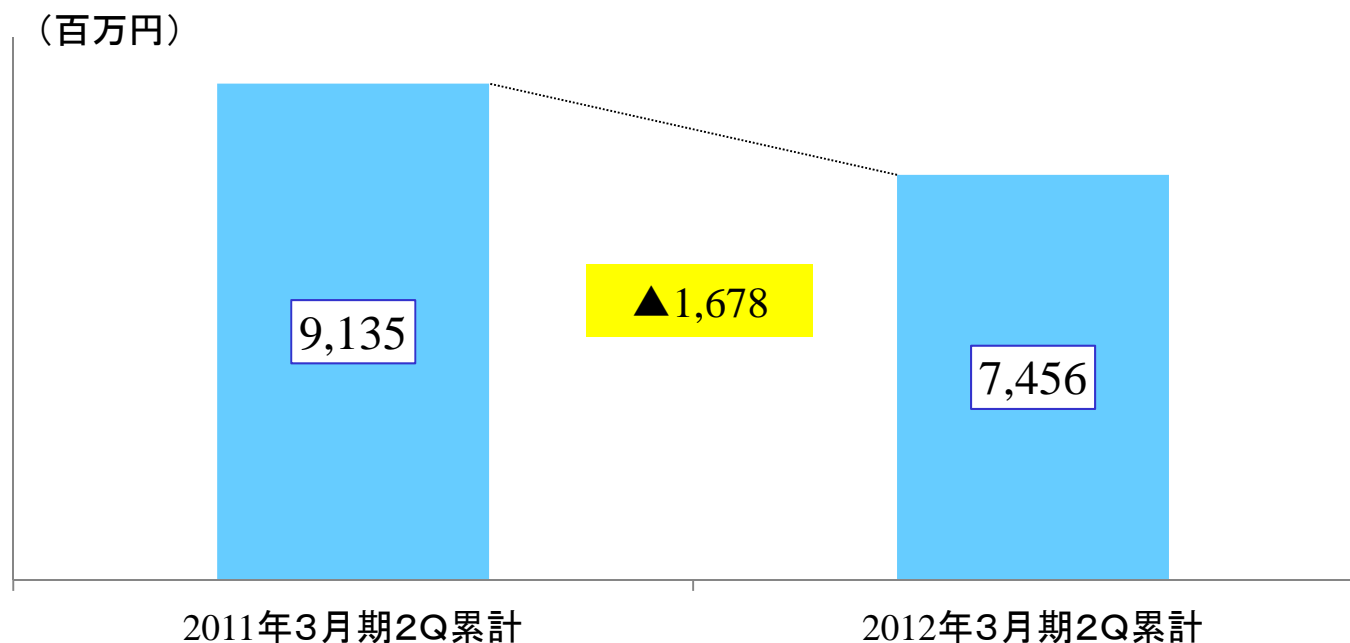
3,077

3,051

- ソニー半導体、電子部品：震災の影響あるも、底堅い需要によりデジタルスチルカメラ、スマートフォン向けにイメージセンサーの販売が堅調
- サムスン半導体、電子部品：液晶パネル(TV向け)は、エコポイント効果がなくなり低調。7月に丸文セミコンへ事業譲渡したことにより前年比大幅減
- その他半導体・電子部品：スマートフォン向け液晶パネル、タッチパネルが好調に推移。サムスンLED社製LED照明ビジネスも貢献



# 2012年3月期 第2四半期 電子機器事業



セグメント利益(百万円)

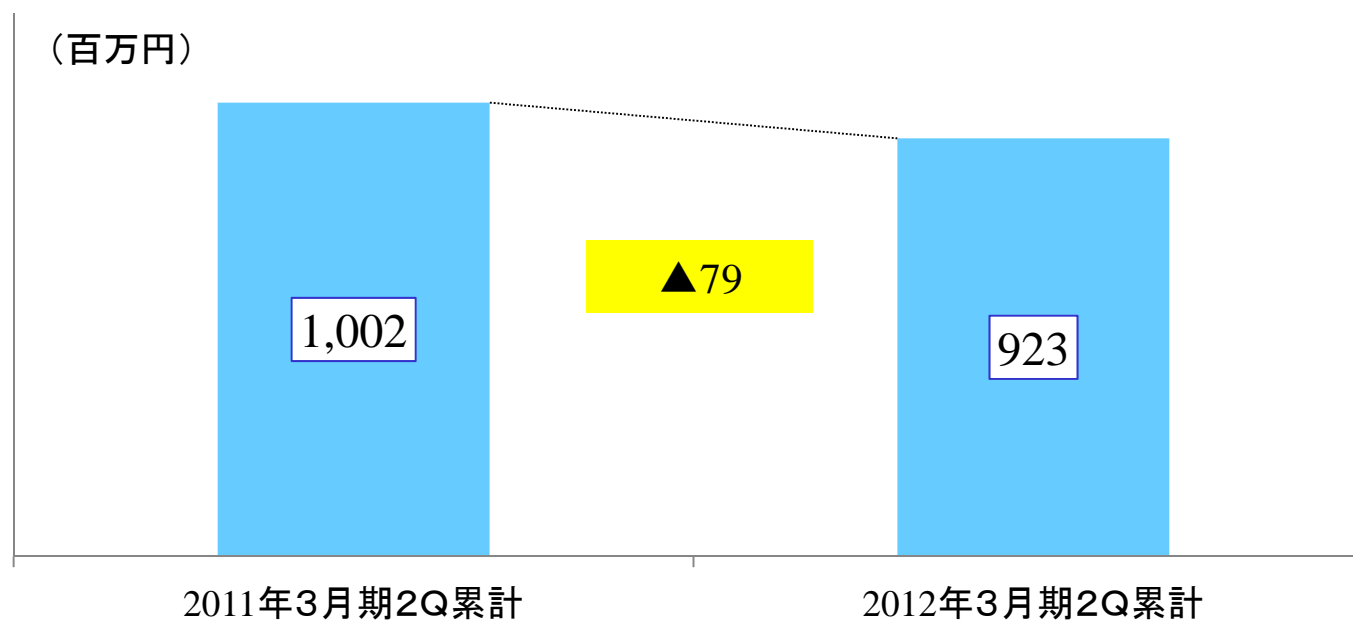
216

▲64

- 業務用電子機器ビジネスは、震災影響による放送用テープメディア等の調達遅滞やプロダクション等一部顧客の設備投資凍結・延伸により低調に推移
- イメージセンシングビジネスも、アジア地域におけるHD監視向けは堅調だったものの震災影響による商品供給減からトータルでは売上減少



# 2012年3月期 第2四半期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

5

62

## ➤ 非接触ICカード関連ビジネス

- ・ パソコン市場では低価格帯へのシフトに伴い、FeliCaモジュール搭載は減少
- ・ 自社開発製品の売上も、震災により一部顧客の投資案件が延伸したことやスマートフォンの普及に伴うフィーチャーフォン向け製品の販売減により減少

## ➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

- ・ 試験数、新規案件が増加し、業績は堅調に推移
- ・ 宇宙用及び太陽光パネル試験事業も寄与



# 2012年3月期 第2四半期 財政状態(バランスシート)

(単位：百万円)		11/9月末	11/3月末
現預金		16,559	14,753
売上債権		68,661	69,763
棚卸資産		12,112	19,865
その他		3,125	4,280
<b>流動資産計</b>		<b>100,459</b>	<b>108,661</b>
<b>固定資産計</b>		<b>4,732</b>	<b>5,250</b>
<b>総資産</b>		<b>105,192</b>	<b>113,912</b>

仕入債務		40,909	46,484
短期借入金 ※		17,058	19,251
その他		3,489	3,360
<b>流動負債計</b>		<b>61,456</b>	<b>69,097</b>
長期借入金		4,934	4,515
その他		1,264	1,604
<b>固定負債計</b>		<b>6,198</b>	<b>6,120</b>
<b>純資産</b>		<b>37,537</b>	<b>38,694</b>

<b>自己資本比率</b>	<b>35.0%</b>	<b>33.0%</b>
---------------	--------------	--------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

## ➤ 総資産

主に棚卸資産減(7,752百万円)及び売上債権減(1,101百万円)により、前期末と比較して8,720百万円減少

## ➤ 負債

主に仕入債務減(5,575百万円)及び短期借入金減(2,193百万円)により、前期末と比較して7,562百万円減少

## ➤ 純資産

主に、四半期純利益736百万円の計上に対し、利益剰余金からの配当559百万円(少数株主への支払含む)、その他の包括利益の変動額929百万円、少数株主持分の変動額414百万円により、前期末と比較して1,157百万円減少

自己資本比率は、総資産圧縮により35.0%となった

# 2012年3月期 第2四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ▲2,190百万円 (前年同期 ▲9,078百万円)

主に、たな卸資産の減少(1,636百万円)、税金等調整前当期純利益(1,556百万円)による資金の増加に対し、仕入債務の減少(4,378百万円)、法人税等の支払額(855百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー 5,833百万円 (前年同期 ▲159百万円)

主に、事業譲渡による収入(5,776百万円)、投資有価証券の売却による収入(607百万円)、定期預金の払戻しによる収入(600百万円)による資金の増加に対し、定期預金の預入による支出(660百万円)、子会社株式の取得による支出(280百万円)、有形固定資産の取得による支出(202百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー ▲1,602百万円 (前年同期 10,956百万円)

主に、運転資金のための短期借入金の減少(671百万円)、配当金の支払額(少数株主への支払も含めて559百万円)、長期借入金の純減(317百万円)による

## ■ 現金及び現金同等物 15,399百万円 (前年同期 11,484百万円)

# 2012年3月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)	2011年3月期通期		2012年3月期第2四半期累計 (実績)				2012年3月期通期 (5月13日発表予想)		
	金額	構成	金額	構成	前年比	進捗率	金額	構成	前年比
売上高	303,585	100.0%	138,745	100.0%	▲6.4%	51.4%	270,000	100.0%	▲11.1%
売上総利益	16,314	5.4%	7,951	5.7%	▲4.9%	53.0%	15,000	5.6%	▲8.1%
SGA	11,883	3.9%	5,769	4.2%	▲3.5%	50.6%	11,400	4.2%	▲4.1%
営業利益	4,431	1.5%	2,182	1.6%	▲8.5%	60.6%	3,600	1.3%	▲18.8%
経常利益	3,861	1.3%	1,719	1.2%	▲16.4%	52.1%	3,300	1.2%	▲14.5%
当期純利益	2,314	0.8%	736	0.5%	▲35.1%	36.8%	2,000	0.7%	▲13.6%

- 2Q累計実績は、震災の影響が想定よりも軽微であったことに加え、半導体・電子部品事業が堅調に推移したことにより、期初予想を上回った
- 下半期については、引き続き高級デジタルスチルカメラやスマートフォン向け電子部品の堅調な需要が見込まれるものの、タイの洪水被害によって、当社の顧客・仕入先の生産活動に影響が出ており、先行きは不透明
- 通期連結業績予想については、タイの洪水が当社ビジネスに及ぼす影響等を精査中であるため、現段階では5/13公表値のまま据え置く
- 期末配当金予想：1株あたり35円



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to : [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。